



2021年6月25日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝  
東京都港区芝浦1-1-1  
代表者名 代表執行役社長 CEO 綱川 智  
(コード番号：6502 東、名)  
問合せ先 執行役員  
コーポレートコミュニケーション部長  
石山 一可  
Tel 03-3457-2100

#### 定時株主総会の決議結果を受けた当社役員体制について

当社は、本日付「定時株主総会の決議結果に関するお知らせ」にて、第182期定時株主総会（以下、「本総会」）の決議結果をお知らせいたしました。当社は、取締役候補の永山 治及び小林 伸行が本総会において否決されましたことを厳粛に受け止めております。

本総会後に招集された取締役会において、綱川 智を取締役会議長（暫定）に選定いたしましたのでお知らせします。新たな取締役体制、新たに設ける戦略委員会を含む各委員会の構成及び執行役体制の詳細につきましては、添付資料1をご参照下さい。なお、本総会にて取締役として承認可決されましたGeorge Olcottから、総会後の体制を踏まえ、あらためて自身の貢献の仕方とその可能性を再考した結果、取締役を辞任するとの申し出があり、これを受理しております。

当社が、2021年6月13日付「調査報告書を受けた当社の対応等について」にてお知らせしております、調査者調査報告書における昨年の定時株主総会の運営に関するご指摘に係る真因、真相の究明、責任の所在の明確化については、新たな監査委員会を中心に、外部の第三者の参画も得て速やかに進めて参ります。当社は、再発防止策等を取りまとめ、今後の経営改善に活かし、引き続き経営の透明性の一層の確保を図ってまいります。

また、当社取締役会は、本日の取締役会後に声明を出しております。内容につきましては、添付資料2をご参照下さい。

以上

(添付資料1)

## 当社役員体制

### 1. 取締役（下線は新任）

綱 川 智

ポール ジェイ ブロフ  
Paul J. Brough

アヤコ ヒロタ ワイズマン  
Ayako Hirota Weissman

ジェリー ブラック  
Jerry Black

ジョージ レイモンド ゼイジ  
George Raymond Zage III

嶋 澤 守

綿 引 万里子

橋 本 勝 則

※Paul J. Brough、Ayako Hirota Weissman、Jerry Black、George Raymond Zage III、  
綿引 万里子、橋本 勝則の6氏は社外取締役。

### 2. 取締役会議長（下線は新任）

取締役会議長（暫定）綱 川 智

### 3. 各委員会委員（下線は新任または昇任）

#### 指名委員会

委員長 George Raymond Zage III

委員 Paul J. Brough

Jerry Black

綿 引 万里子

橋 本 勝 則

#### 監査委員会

委員長 橋 本 勝 則

委員 綿 引 万里子

Paul J. Brough

報酬委員会

委員長 Jerry Black  
委員 Ayako Hirota Weissman  
綿引万里子

戦略委員会

委員長 Paul J. Brough  
委員 George Raymond Zage III  
Jerry Black  
Ayako Hirota Weissman  
橋本勝則

4. 執行役

代表執行役、執行役社長 CEO	綱川智
代表執行役副社長	畠澤守
代表執行役専務 CFO	平田政善
代表執行役専務	櫻井直哉
代表執行役専務	今野貴之
執行役上席常務	島田太郎
執行役上席常務	佐藤裕之
執行役上席常務	弓田圭一
執行役上席常務	上條勉
執行役上席常務	石井秀明
執行役上席常務	小西崇夫
執行役上席常務	福山寛
執行役常務	大塚仁
執行役常務	三原隆正
執行役常務	谷尚史

以上

## (添付資料 2)

[英語原文の日本語訳]

2021年6月25日

### 当社取締役会からの声明

新たに選任された東芝の取締役会は、本日の定時株主総会での決議結果を真摯に受け止めます。株主の皆様のご懸念を受け止め、それに応えることは、取締役会の重大な責務です。

当社はコーポレート・ガバナンスの改善、資本政策への一層の注力、株主還元の充実、及び株主の皆様からの信頼と支持の回復を目指す、大きな変革の途上にあります。2021年6月10日に公表された調査者による調査報告書、及び定時株主総会における本日午後の決議の結果、取締役会は既に大きな変化を遂げております。

本日、取締役会は全会一致で綱川智氏を取締役会議長(暫定)として選任いたしました。綱川氏はこの職責にあたり、当社の戦略的能力及び競争優位性に関する深い理解と、当社の課題及び将来性に対する客観的な視点をもたらします。綱川氏は顧客の皆様や従業員に安定をもたらすと共に、取締役会が建設的な変革を推し進めることを可能とします。

本日の取締役会において、現在の取締役が有する知見や能力を基に、全ての委員会の新たな構成を決議いたしました。今後数週間、指名委員会その他の取締役及び経営陣は、当社の安定、ガバナンス及び将来の収益性に関して、最大限の成果を挙げる上で必要となりうる追加的な変更について検討すべく、当社の主要なステークホルダーである株主、経営陣、従業員及び顧客の皆様との対話を進めて参ります。

今後取り組みを進めるにあたり、次の重点領域に注力して参ります。

- ・東芝の従業員及び顧客の皆様は、当社が長期的に成果を上げていく上で不可欠な存在です。取締役会は将来に向けて安定と信頼を築くため、エンゲージメント及び透明性の向上に努めて参ります。
- ・現在当社の取締役会議長(暫定)兼CEOを務める綱川氏の後継者の選定を進めて参ります。当社の広範な事業ポートフォリオを踏まえ、最も優れた能力を有する者を選定すべく、社内及び社外の候補者について、検討を行います。また、取締役の追加候補者の検討にあたり、1社又は複数のグローバルなエグゼクティブサーチ会社にサポートを要請いたします。
- ・新たに設置した戦略委員会(以下、「SRC」)の活動範囲を拡大します。SRCは当社が現在保有する資産について全面的な見直しを行い、執行部と共に自己株式取得や配当によるTSR(株主総利回り)の拡大を重視した、将来に向けた事業計画を策定いたします。また、長期的な価値創造を実現するためには、投下資本に対して高いリターン創出が可能な領域における成長を中心に、思慮深く規律ある投資が必要です。
- ・またSRCは、当社又は当社子会社若しくは当社事業に対する潜在的な戦略投資家及び金融投資家との対話を行います。我々は、株主にとってどのような選択肢があり、またそれらが他のステークホルダーにとってどのような意味を持つのかについて理解する上で、こうした投資家との対話が重要であると考えています。当社は先入観を持たずこの対話に臨み、利益を伴った成長及び高い株主還元を当社自身の手で実現できる能力と比較するためのベンチマークとする所存です。

- ・東芝の企業風土を改めて見直し、経営陣や従業員の士気向上に資する方策を検討いたします。これは、過去の不祥事や、財務問題を繰り返さないために極めて重要であると考えております。また、当社により強い「オーナーシップ・カルチャー」を醸成するための方策についても検討して参ります。

当社取締役会は、日本で最も重要な企業のひとつである東芝の、より明るい未来を見据えております。最後に、この度退任された永山取締役会議長に対し、1年に亘り当社へのコミットメント及びご尽力を頂きましたことについて、感謝の意を表したいと存じます。

以 上